

商船三井クルーズ株式会社 横浜港・大さん橋で引退セレモニー
約 35 年間で地球約 133 周分を航走延べ 60 万人以上の旅をアシスト

穏やかな晴天に恵まれた 5 月 10 日、潮風が薫る横浜港大さん橋の国際客船ターミナルで、商船三井クルーズ株式会社の「にっぽん丸」の引退セレモニーが開催され、約 7300 人が見守る中、最後の航海を終えた「にっぽん丸」が大さん橋に着桟し、就航してから 35 年の歴史に幕を下ろした。

横浜港では大さん橋に向かう「にっぽん丸」の雄姿に、横浜市消防局の消防艇による歓迎放水が行われ、国際客船ターミナルのセレモニー会場では横浜市立港中学校吹奏楽部が「ブルーナイトヨコハマ」や「君の瞳に恋してる」などの楽曲を演奏し、人々に愛された「にっぽん丸」の功績を労った。

横浜港主催の引退セレモニー会場では、「にっぽん丸」を代表して船長、機関長、ゼネラルマネージャーの 3 人が感謝の花束を受け取り、内田幸一船長は、見守る会場の皆さんへ次の感謝を述べた。

「皆さま、にっぽん丸は最終航海を終え、横浜港へ帰ってまいりました。にっぽん丸は 1990 年の就航以来、ここ横浜港から、ワンナイトクルーズから世界一周クルーズまで、幾度となくお客様と感動を分かち合う航海へ出かけてまいりました。そして最終航海も、この横浜港から多くの皆さまに見送っていただきながら出港し、本日、無事に帰着することができました。引退を発表してから、それぞれの寄港地で、『ありがとう』『さようなら』『おかえりなさい』といった温かい言葉を数多くいただきました。全国各地で、にっぽん丸は今なお皆さまの心の中を走り続けているのだと、強く実感しております。ここにお集まりいただいた皆さま、横浜地域の皆さま、関係者の皆さま、そしてこれまで応援して下さったすべてのお客様に、心より感謝申し上げます。こうして多くの皆さまに、にっぽん丸を囲んでいただいているこの瞬間は、決して忘れることのできない特別なひとときです。そして私にとっても、にっぽん丸でのすべての経験がかけがえのない宝物です。本日、35 年間走り続けてきたにっぽん丸へ、皆さまとともに感謝と労いの気持ちを送りたいと思います。お疲れさま、にっぽん丸。忘れないよ、にっぽん丸。ありがとう、にっぽん丸。皆さま、本当に長い間ありがとうございました」

引退セレモニーの最後は、横浜市立港中学校吹奏楽部が横浜市出身のミュージシャン、「ゆず」の楽曲「夏色」を演奏し、「にっぽん丸」に別れを告げた。
「海員だより」